

News Release

日本をおいしくする

SHOWA

昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 1 号
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成 23 年 5 月 23 日

昭和産業株式会社 平成 23 年 3 月期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：横澤正克）の平成 23 年 3 月期連結決算は、売上高 2,137 億 09 百万円、経常利益 57 億 55 百万円となりました。平成 24 年 3 月期通期連結業績予想については、売上高 2,320 億円、経常利益 71 億円を見込んでおります。

【平成23年3月期連結決算】

当連結会計年度の我が国経済は、長引く景気低迷や円高など厳しい環境にありながらも、世界経済の回復や景気対策の効果により緩やかな回復傾向にありました。しかしながら、本年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及びその後の原発事故や電力不足により、経済活動は甚大な影響を受けました。

食品業界におきましても、消費低迷による競争激化に加え、東日本大震災の影響を受ける非常に厳しい環境となりました。

原料穀物相場につきましては、ロシアの干ばつによる禁輸措置を受けた小麦価格の急騰に続き、大豆、菜種、とうもろこしの価格も大幅に上昇しました。また、穀物輸出国における在庫量も低水準となりました。

このような状況の中、当社グループは、2009 年（平成 21 年）よりスタートした「中期経営計画 09－11」の 5 つの基本戦略「①財務体質の強化」「②成長分野への注力」「③基盤事業の再成長」「④グループシナジーの追求」「⑤CSR 経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

しかしながら、当社グループにおきましても、東日本大震災により生産拠点等が被災し、生産設備や製品在庫に損失が発生しました。その結果、特別損失に震災関連費用を 2,195 百万円計上しました。

なお、震災後、直ちに災害対策本部を設置し、全社一丸となって早期復旧に努めた結果、本年 3 月末までには概ね復旧作業は完了しております。

これらの結果、連結売上高は 213,709 百万円と前連結会計年度に比べ 4,327 百万円（2.1%）の増収となりました。営業利益は 5,221 百万円と前連結会計年度に比べ 3,389 百万円（39.4%）の減益、経常利益は 5,755 百万円と前連結会計年度に比べ 2,549 百万円（30.7%）の減益、当期純利益は、415 百万円と前連結会計年度に比べ 3,137 百万円（88.3%）の減益となりました。

【平成24年3月期連結業績予想】

東日本大震災及びその後の原発事故に伴う社会不安や電力不足もあり、今後、企業活動は大きな制約を受け、個人消費も低迷することが予想されます。

当社グループは、食に携わる企業グループの使命として、このような非常時においても安全で高品質な食を安定的に供給することに注力するとともに、震災被害からの復興を早期に実現し、リスクマネジメントの強化を図りながら更なる成長を目指します。

平成 24 年 3 月期の業績は、連結売上高 2,320 億円、連結営業利益 69 億円、連結経常利益 71 億円、連結当期利益 37 億円を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、東日本大震災の影響を織り込んでおりますが、余震や電力不足、原発事故の影響など、今後の状況によっては変動する可能性があります。

以上

この件に関するお問合せ

昭和産業株式会社 経営企画部広報課 まで

TEL：03-3257-2042

FAX：03-3257-2097